

氏名	渡 部 昌 実
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2105 号
学位授与の日付	平成12年3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系泌尿器科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	神経終末タンパク質Amphiphysin Iのヒト精巣における発現
論文審査委員	教授 工藤 尚文 教授 竹居 孝二 教授 小川 紀雄

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Amphiphysin(amph) Iはニューロンの軸索終末部に局在し、dynamin GTPaseと結合してシナプス小胞膜の clathrin-mediated endocytosis の過程に重要な役割を果たすタンパク質である。我々は、精巣腫瘍2例、停留精巣2例、無精子症3例の計7例から得られた精巣組織をウェスタンブロット法で解析し、128kDaの amph I および100kDaの dynamin の発現を認めた。Amph I、dynamin の精子発生への関与を調べるために、それぞれのウェスタンブロット法での発現量と精子発生度を組織学的にしめす Johnsen's score との相関性を解析した。その結果、amph I の発現量と Johnsen's score の間には統計学的に有意な正の相関を認めたが、dynamin については有意な相関を認めなかった。以上より、ヒトの精巣において amph I が精子発生に重要な役割を果たしている可能性が示唆された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

Amphiphysin(amph) I はニューロンの軸索終末部に局在し、dynamin GTPase と結合してシナプス小胞膜の clathrin-mediated endocytosis の過程に重要な役割を果たすタンパク質である。Amph I、dynamin の精子発生への関与を調べるために、臨床例で得られた精巣組織を用いて、それぞれのウェスタンブロット法での発現量と精子発生度を組織学的にしめす Johnsen's score との相関性を解析した。その結果、amph I の発現量と Johnsen's score の間には統計学的に有意な正の相関を認めたが、dynamin については有意な相関を認めなかった。以上より、ヒトの精巣において amph I が精子発生に重要な役割を果たしている可能性が示唆された。

よって、本研究は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。